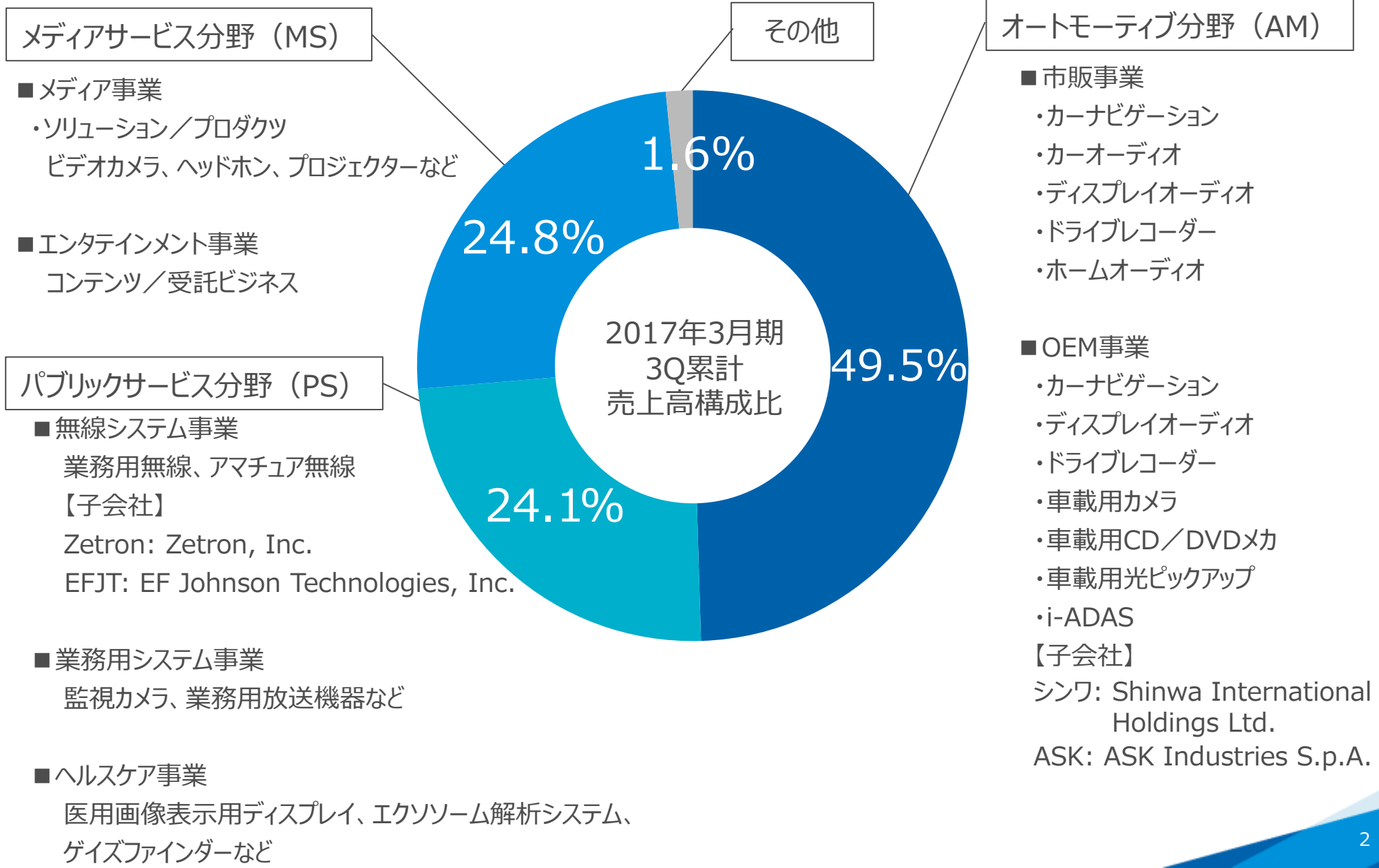


**JVCケンウッド 決算説明資料**  
**2017年（平成29年）3月期 第3四半期**

2017年2月1日

株式会社JVCケンウッド

# 事業内容



- 1. 2017年3月期 第3四半期決算概況**
- 2. 2017年3月期 通期業績予想および  
配当予想の修正**
- 3. 第4四半期以降の取り組み**

- 1. 2017年3月期 第3四半期決算概況**
2. 2017年3月期 通期業績予想および  
配当予想の修正
3. 第4四半期以降の取り組み

# 2017年3月期 3Q決算（累計） ハイライト

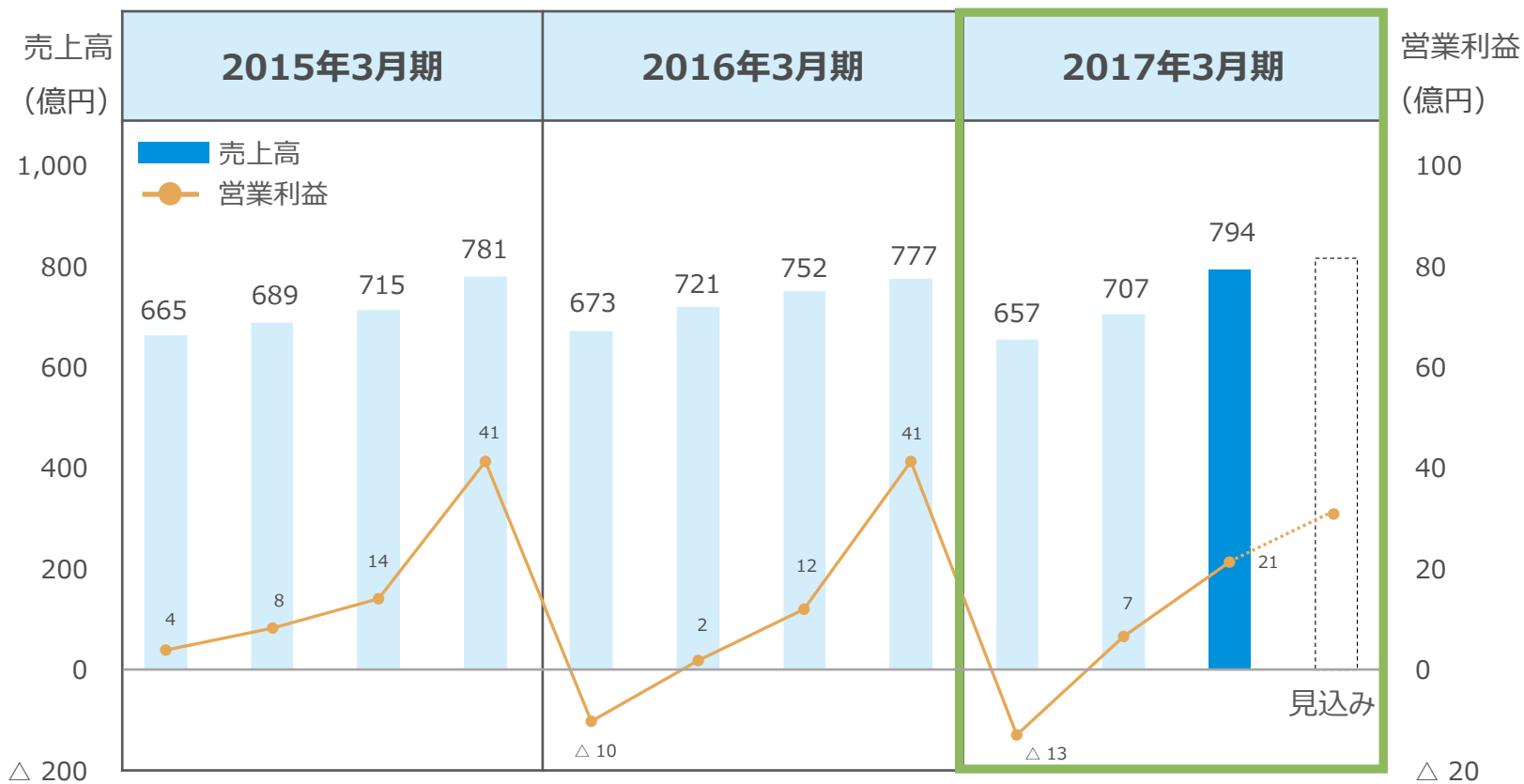
- 売上高は、為替変動の影響を受けたものの、AMおよびMSの増収により増収
- 営業利益は、為替変動や退職給付費用増など期初想定内の要因による影響が生じたものの、AMおよびMSが損益改善したことから、大幅な増益

(億円)

	'16/3期 3Q累計		'17/3期 3Q累計		
		構成比		構成比	前期増減率
売上高	2,145	100.0	2,158	100.0	0.6%
売上原価	1,558	72.6	1,588	73.6	1.9%
販売費及び一般管理費	584	27.2	555	25.7	△4.9%
営業利益	4	0.2	15	0.7	322.9%
経常利益	△ 22	△ 1.0	△ 3	△ 0.1	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 55	△ 2.5	△ 107	△ 5.0	-

		'16/3期			'17/3期		
		1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q
		損益為替レート	1米ドル	121円	122円	121円	108円
	1ユーロ	134円	136円	133円	122円	114円	118円

# 2017年3月期 3Q決算（四半期別） 実績推移



		2015年				2016年				2017年			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
損益為替レート	1米ドル	102	104	114	119	121	122	121	115	108	102	109	
	1ユーロ	140	138	143	134	134	136	133	127	122	114	118	

	2016年		2017年	
	上期	下期	上期	下期
売上高	1,354	1,496	1,394	1,528
営業利益	12	55	△ 8	53

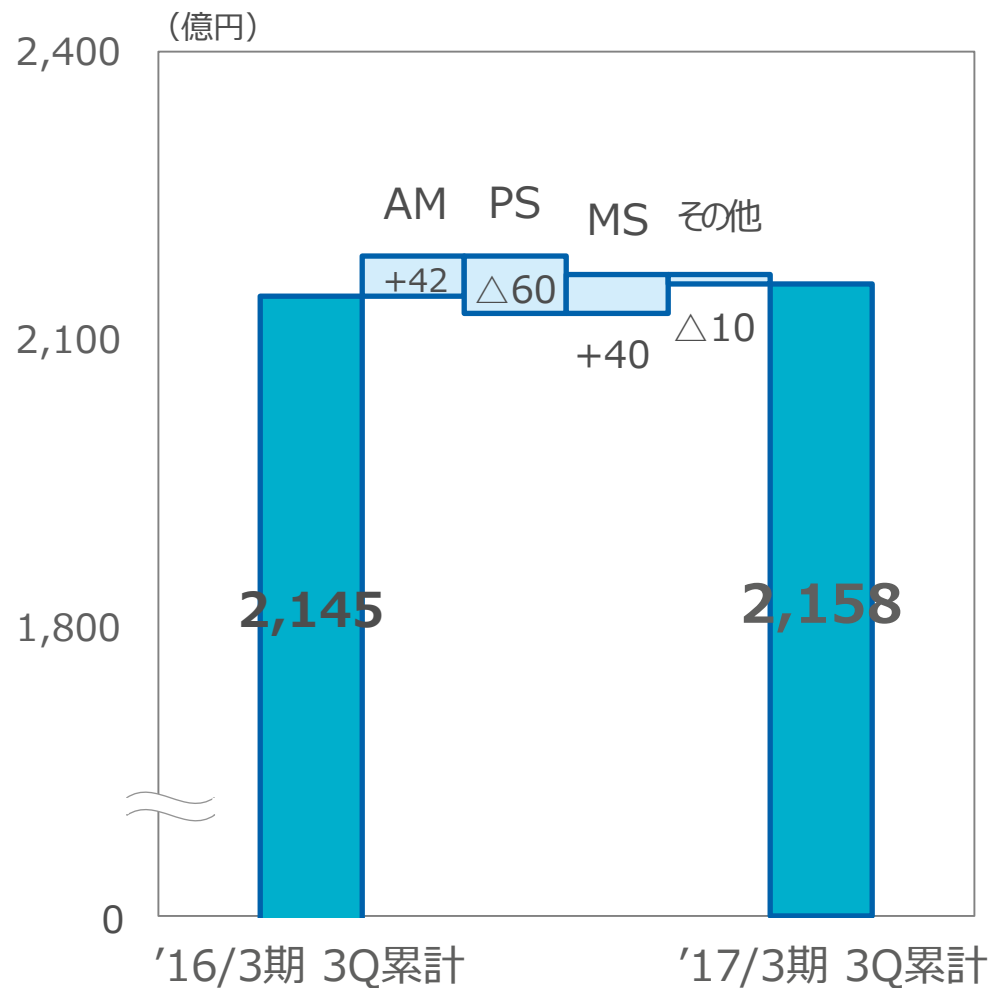
# 2017年3月期 3Q決算（累計） 分野別の状況

(億円)

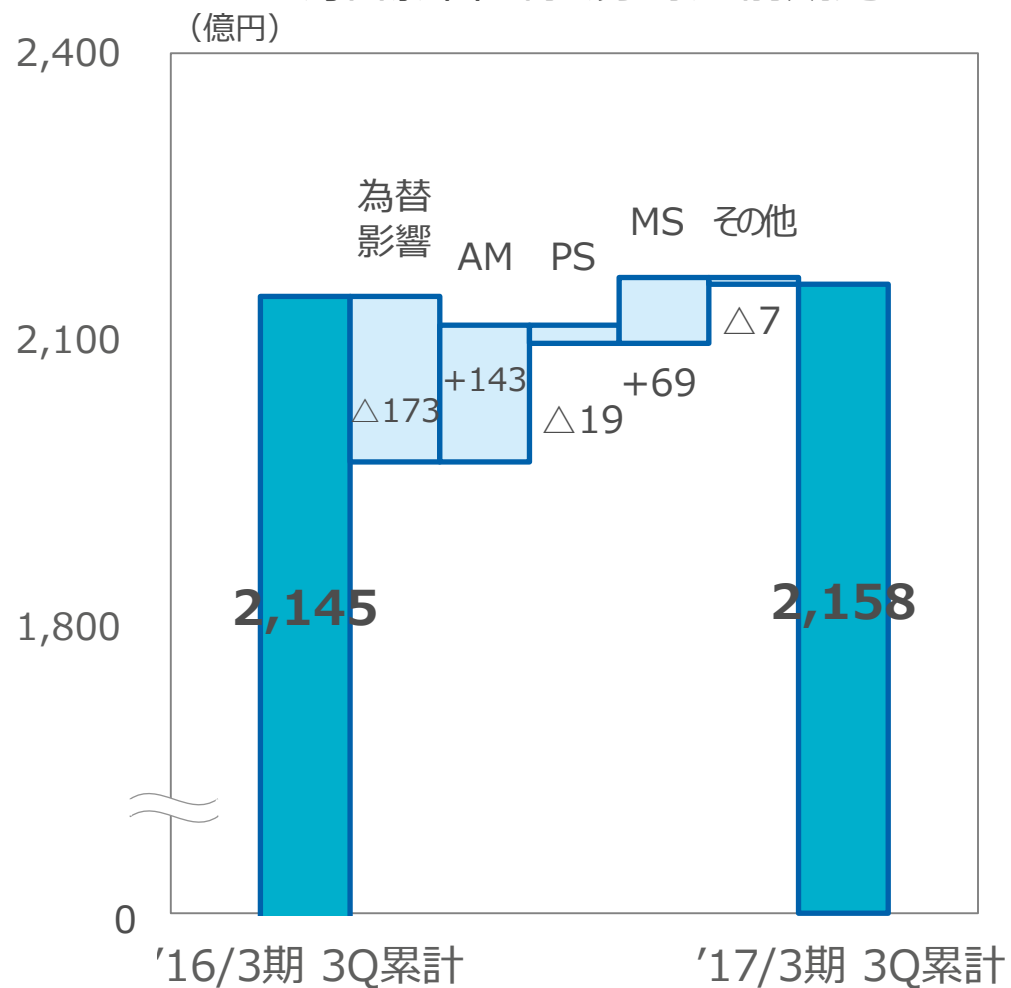
		'16/3期 3Q累計	'17/3期 3Q累計	前期差	前期増減率	要因
オートモーティブ	売上高	1,027	1,069	+42	4%	* 用品販売増によるOEM増収 * i-ADAS関連の営業損失計上も、国内販売好調、海外商品ミックス改善、用品販売増で損益改善
	営業利益	△ 9	△ 4	+5	-	
パブリックサービス	売上高	580	521	△ 60	△10%	* 無線システム、業務用システムの減収 * 無線システム、業務用システムともに減収影響から減益
	営業利益	2	△ 3	△ 4	-	
メディアサービス	売上高	494	535	+40	8%	* エンタテインメントが増収増益
	営業利益	7	17	+10	148%	
その他 (セグメント間消去を含む)	売上高	44	34	△ 10	△23%	
	営業利益	4	4	+0	5%	

# 2017年3月期 3Q決算（累計） 連結売上高（分野別）

## 分野別前期比

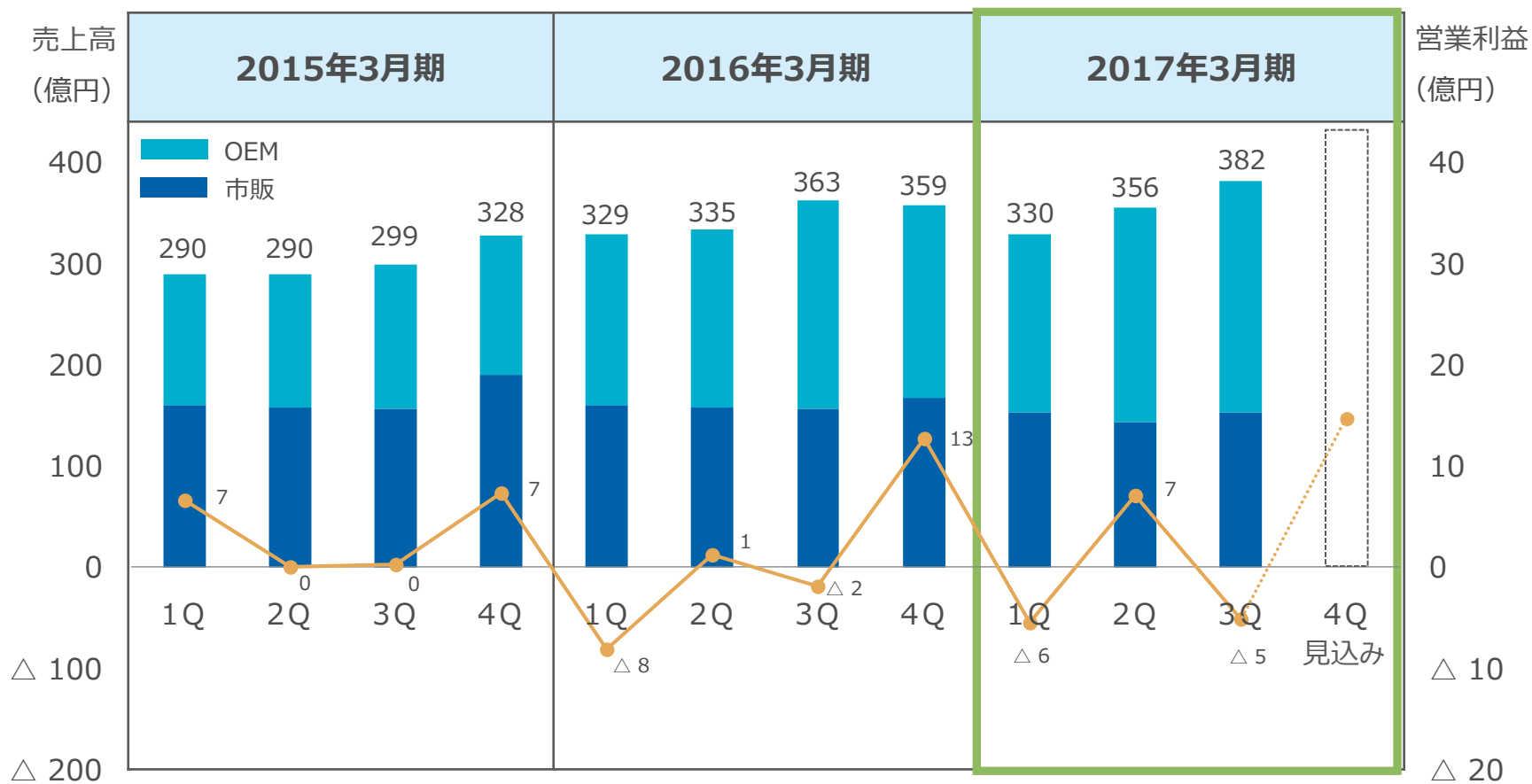


## 為替影響を除く分野別前期比





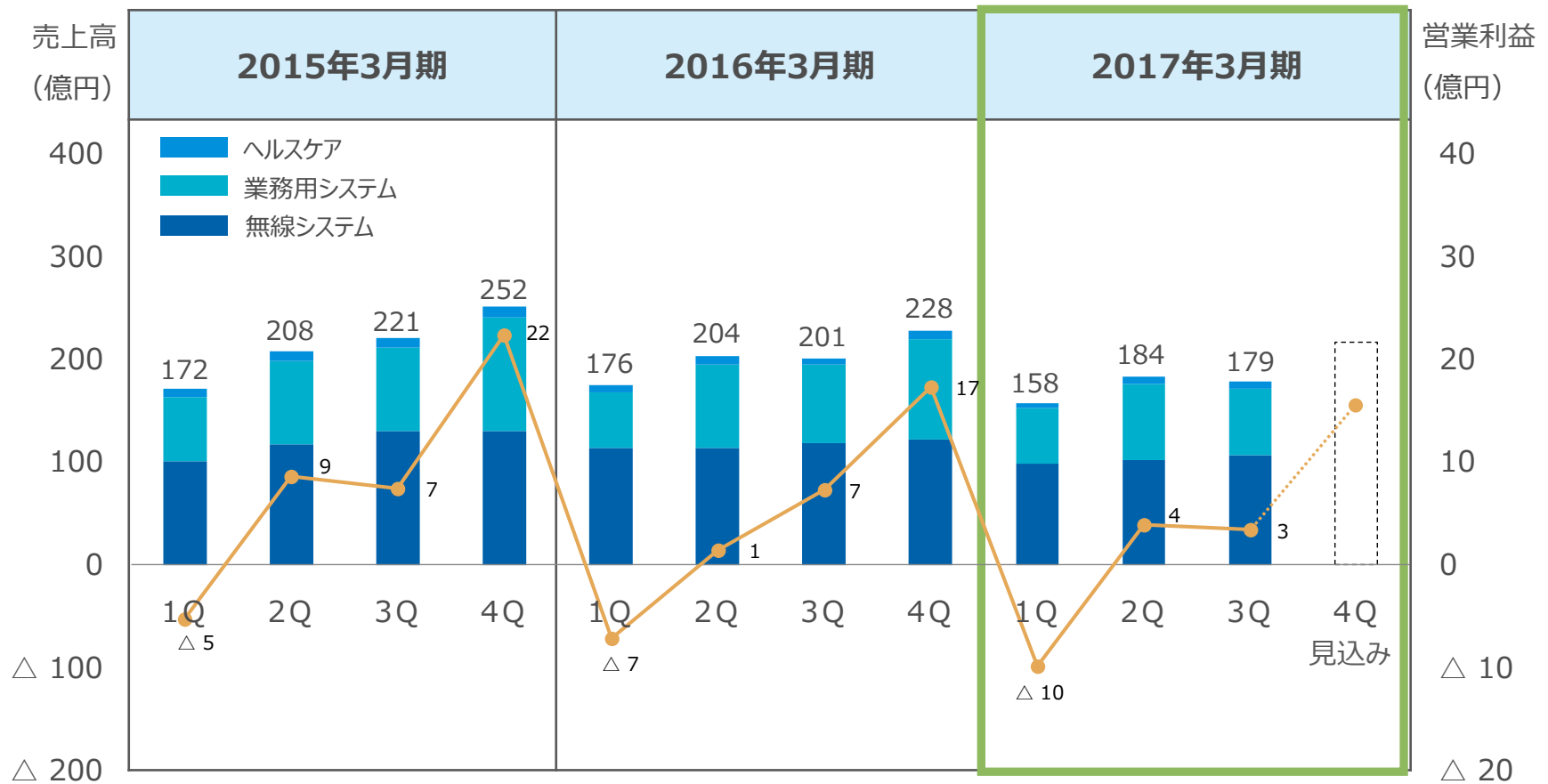
# 2017年3月期 3Q決算（四半期別） オートモーティブ分野



	2016年3月期		2017年3月期	
	上期	下期	上期	下期
売上高	580	628	664	722
営業利益	7	8	$\Delta 7$	11

(億円)

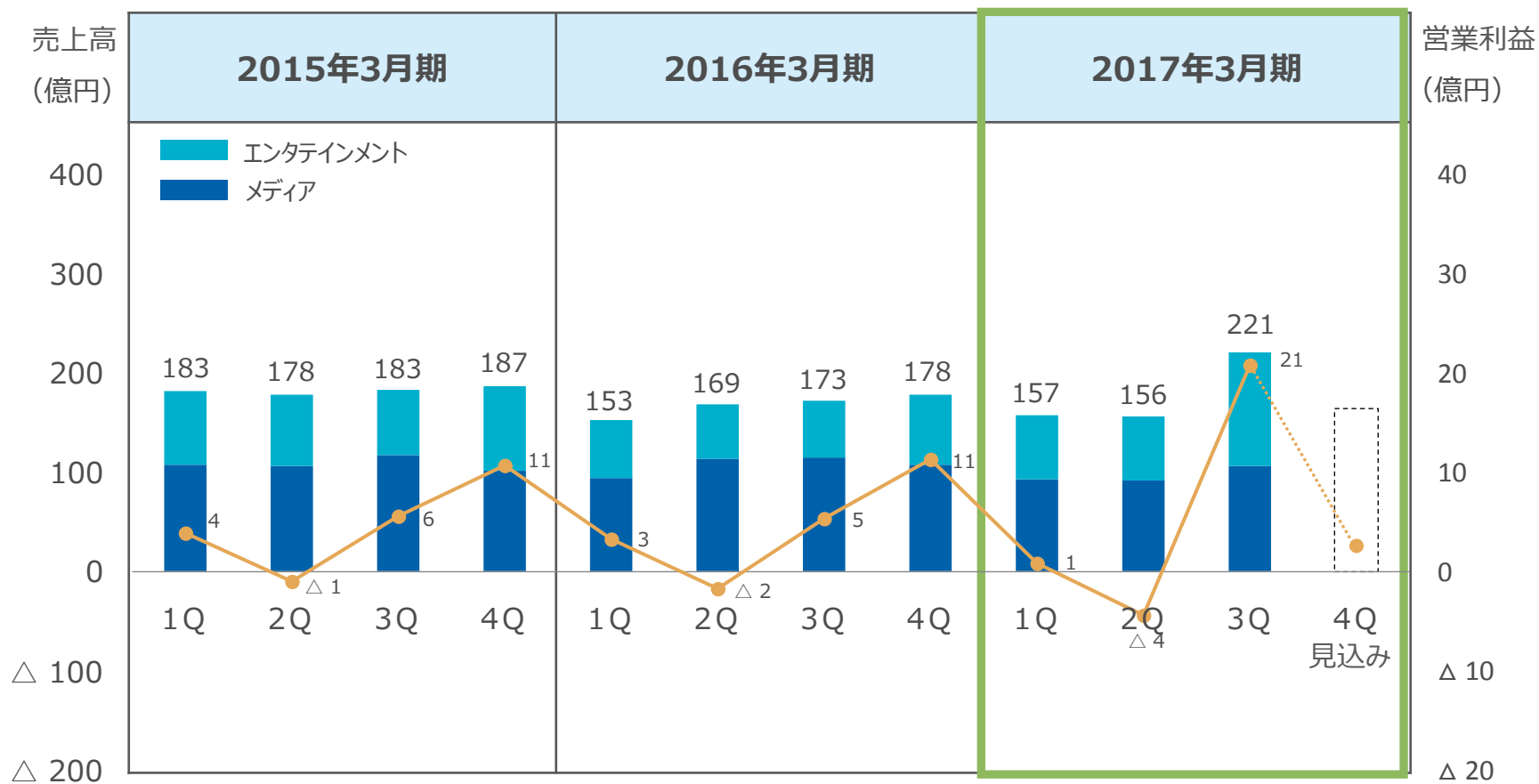
# 2017年3月期 3Q決算（四半期別） パブリックサービス分野



(億円)

	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	380	472	379	430	342	
営業利益	3	30	△ 6	25	△ 6	

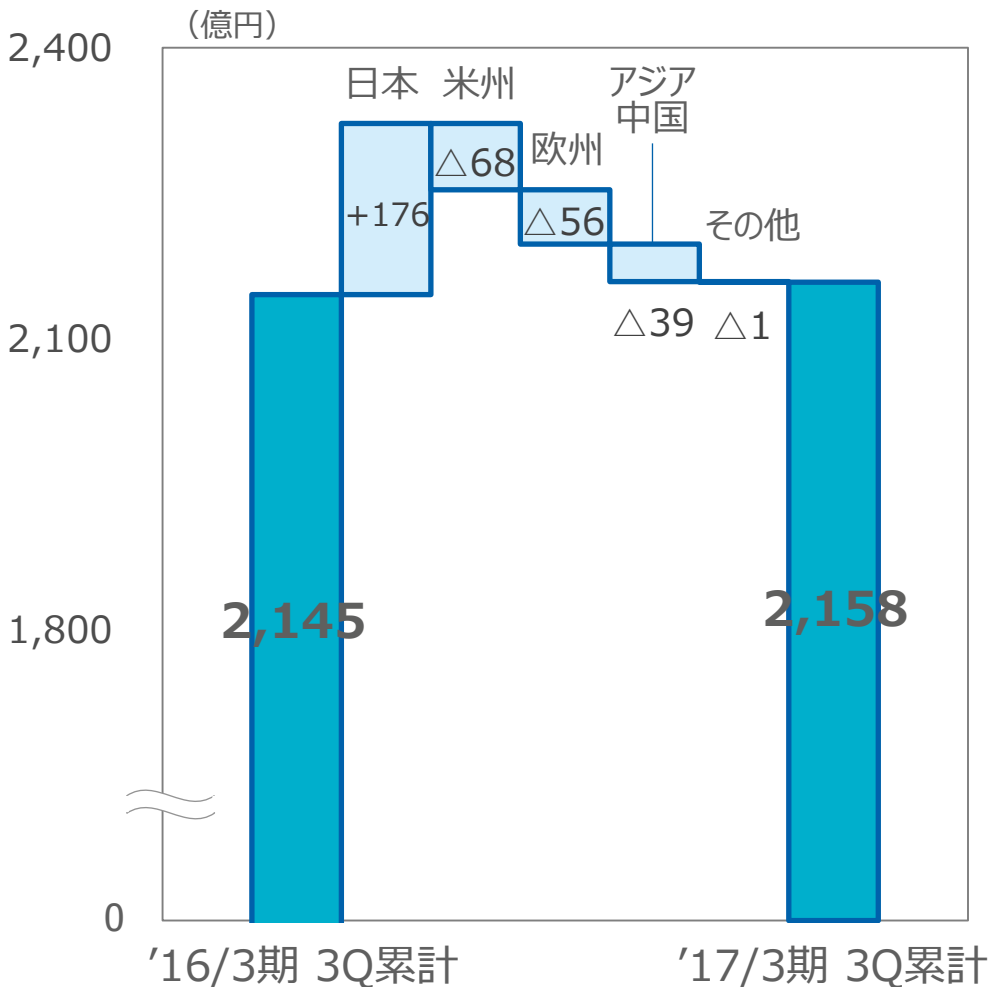
# 2017年3月期 3Q決算（四半期別） メディアサービス分野



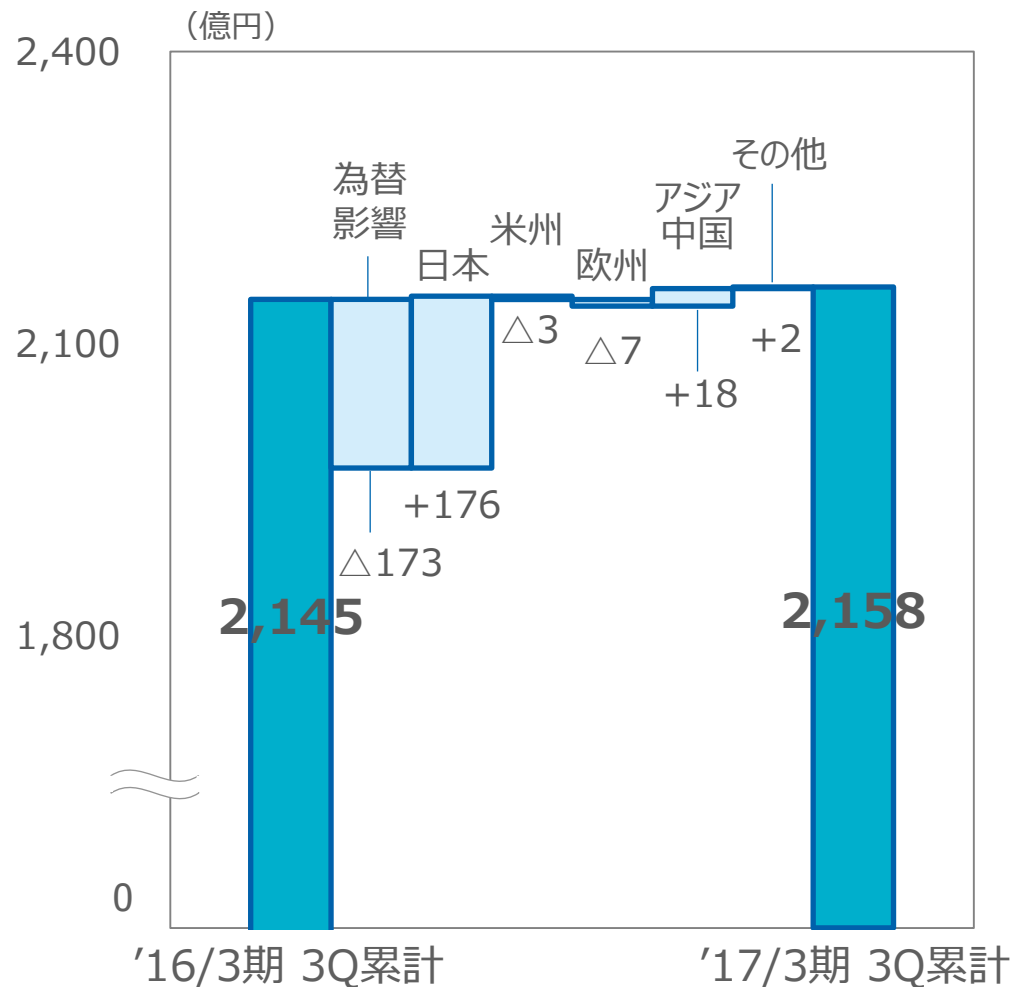
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	361	371	322	350	314	
営業利益	3	16	2	17	△ 4	

# 2017年3月期 3Q決算（累計） 地域別売上高

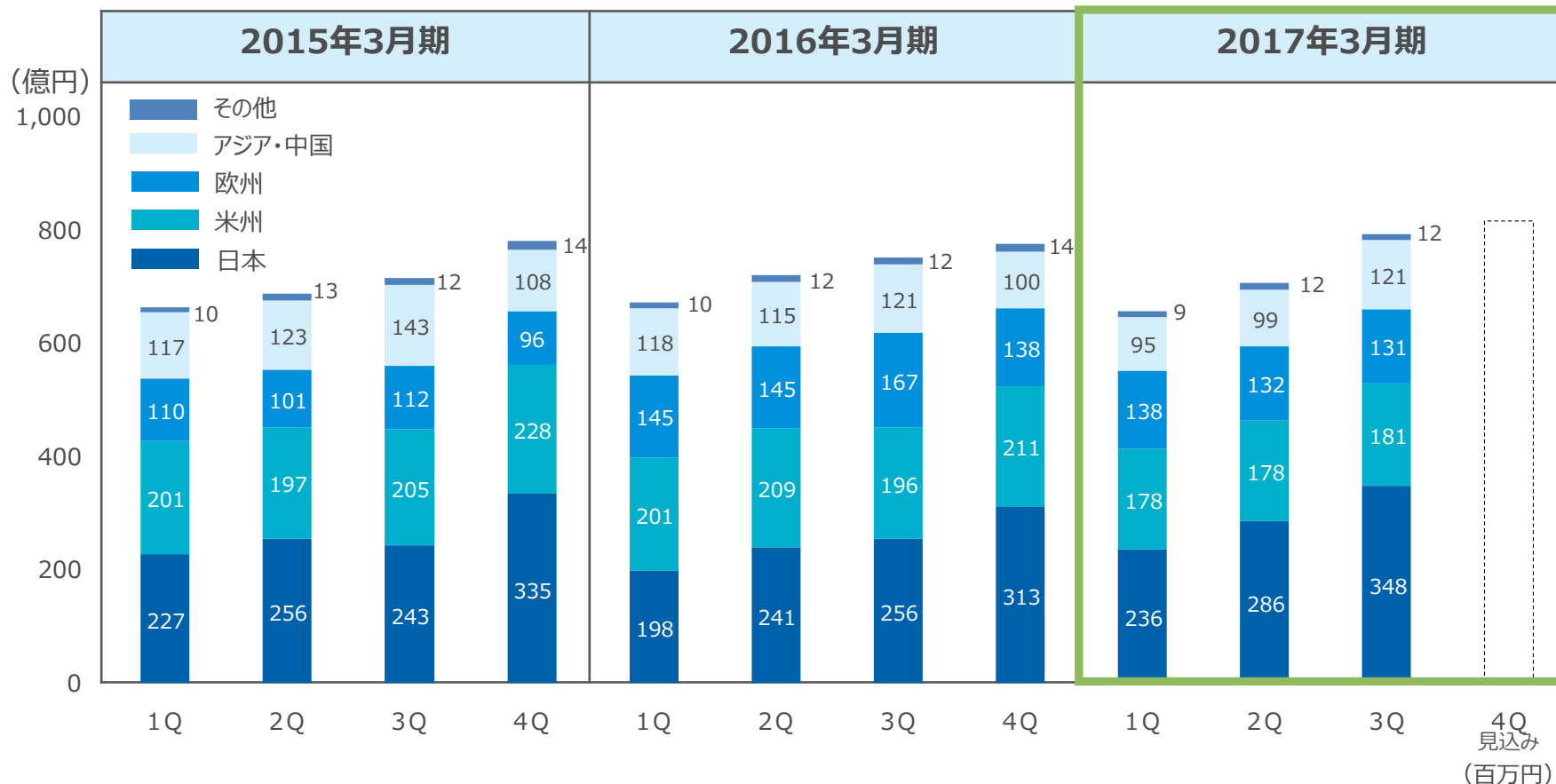
## 地域別前期比



## 為替影響を除く地域別前期比



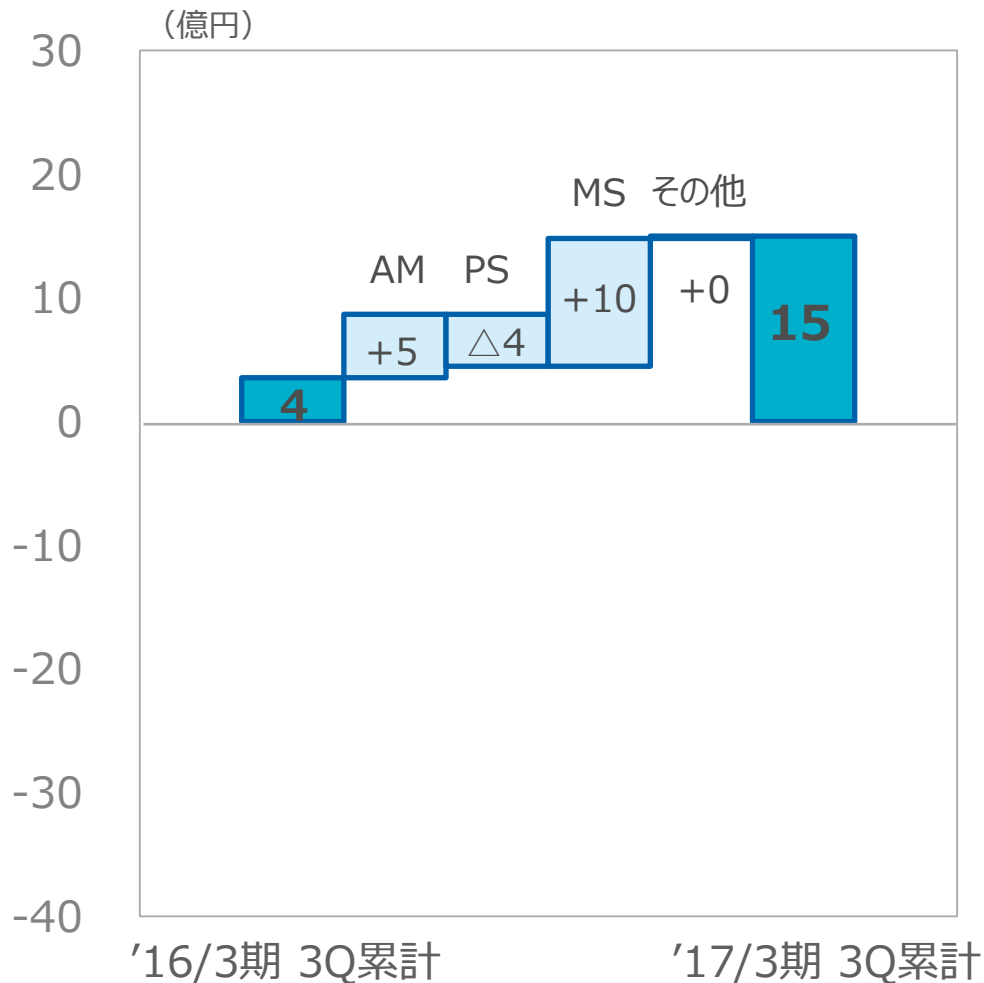
# 2017年3月期 3Q決算（四半期別） 地域別売上高



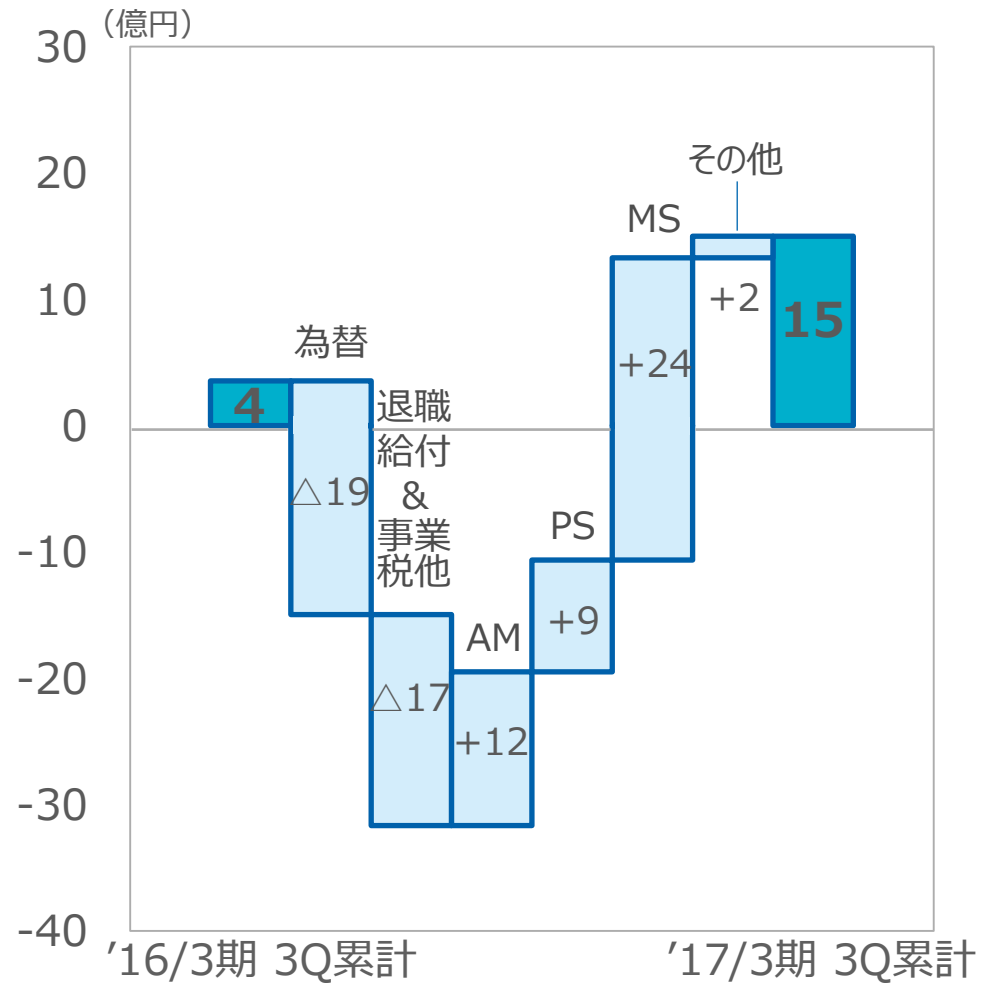
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
日本	483	578	439	569	523	
米州	398	433	410	407	356	
欧州	211	208	290	305	270	
アジア	239	251	233	221	194	
その他	23	26	22	26	21	

# 2017年3月期 3Q決算（累計） 連結営業利益（分野別）

## 分野別前期比

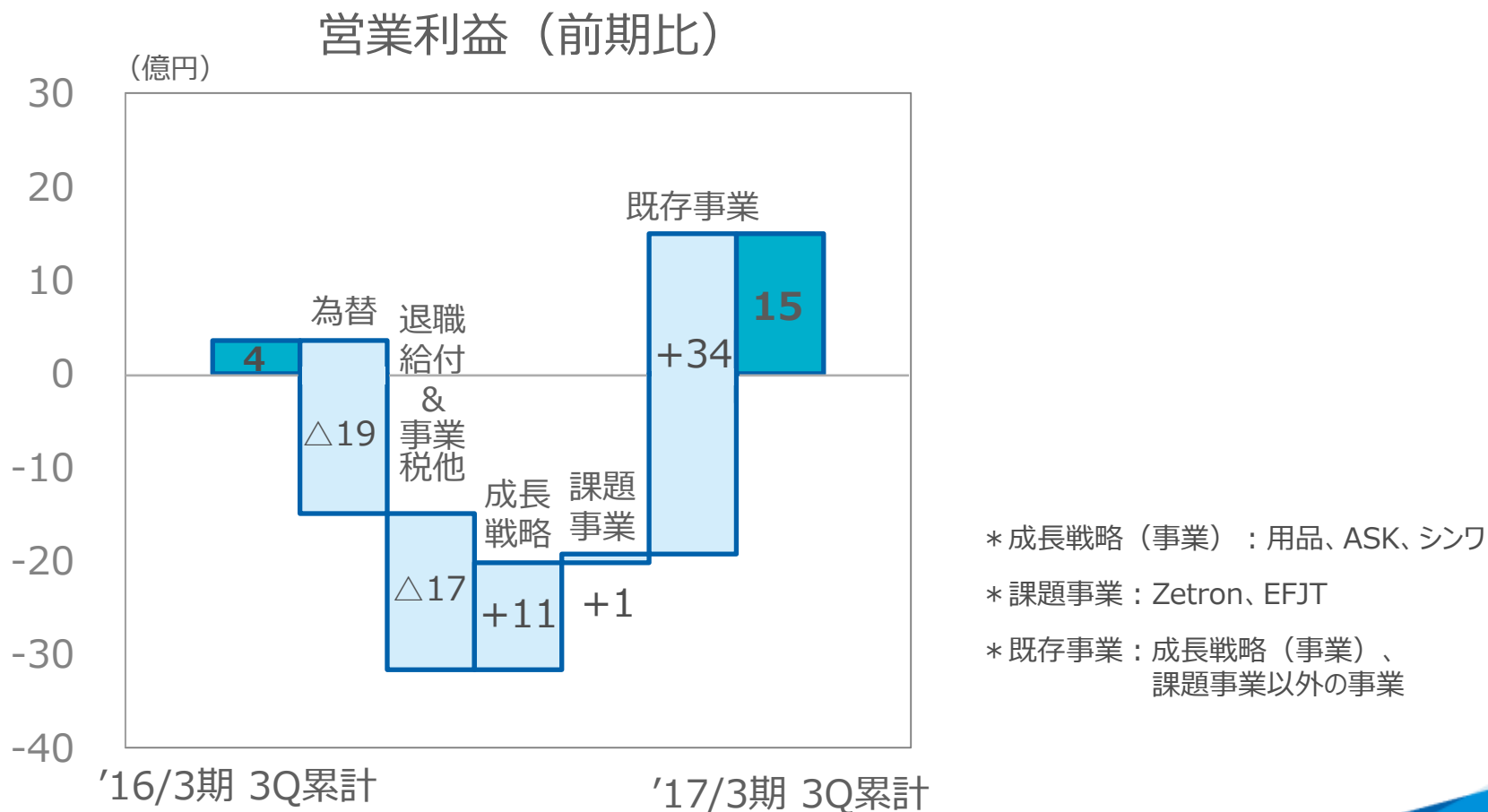


## 為替影響等を除く分野別前期比



# 2017年3月期 3Q決算（累計） 連結営業利益（要因別）

- 為替影響がやや想定を上回るも、退職給付費用増などは期初想定の内圏内で発生
- 既存事業の増益分が想定を大きく上回り、対前年で約11億円の改善



# 2017年3月期 3Q決算（累計） 連結経常利益および

## 親会社株主に帰属する四半期純利益

- 営業増益などにより経常利益は改善も、特別損失計上の影響から、親会社株主に帰属する四半期純利益は損失拡大

(億円)

	'16/3期 3Q累計	'17/3期 3Q累計	前期比
営業利益	3.5	15.0	+11.4
営業外収支	△25.1	△17.5	+7.6
経常利益	△21.6	△2.6	+19.0
特別損益	△2.3	△74.2	△71.9
法人税他	△30.6	△30.6	+0.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	△54.5	△107.4	△52.9



# 2017年3月期 3Q決算（累計） 営業外収支・特別損益の状況

(百万円)

	'16/3期 3Q累計	'17/3期 3Q累計	前期差
営業外収支	△ 2,510	△ 1,753	758
営業外収益	880	732	△ 148
受取利息・配当金	291	292	+1
その他	589	439	△ 150
営業外費用	3,391	2,485	△ 905
支払利息	1,298	692	△ 606
為替差損	556	651	+95
借入手数料	725	151	△ 574
その他	809	990	181
特別損益	△ 233	△ 7,423	△ 7,190
特別利益	1,686	771	△ 915
固定資産売却益	128	110	△ 18
関係会社株式売却益	407	560	+153
関係会社清算益	1,150	69	△ 1,081
その他	-	31	+31
特別損失	1,920	8,194	+6,275
固定資産売却損・除却損	45	1,388	+1,343
減損損失	1,111	5,310	+4,199
事業構造改革費用	145	262	+117
雇用構造改革費用	537	231	△ 306
関係会社清算損	-	273	+273
受注損失引当金繰入額	-	711	+711
その他	78	16	△ 62

# 2017年3月期 3Q決算 貸借対照表サマリー

(億円)

	'16/3期末	'17/3期 3Q末	増減
総資産	2,563	2,573	+10
有利子負債	692	718	+26
ネットデット	264	368	+104
ネットD/Eレシオ (倍)	0.51	0.82	+0.31
純資産	576	506	△70
自己資本	523	448	△75
自己資本比率 (%)	20.4	17.4	△3.0

# 2017年3月期 3Q決算（累計） キャッシュ・フロー サマリー

- 売上増にともなう運転資金の増加などにより、営業キャッシュ・フローは減少
- 有形固定資産の取得による支出増加により、投資キャッシュ・フローは減少

(億円)

	'16/3期 3Q累計	'17/3期 3Q累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	62	53	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114	△133	△19
フリー・キャッシュ・フロー	△52	△80	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107	2	+109
合計	△159	△78	+81

※ フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

## (参考) 決算訂正

- Taxマネジメント検討の過程で、2012年3月期3Q～2017年3月期2Qに計上した法人事業税について、累計で約13億円の過大計上となっていたことが判明したため、各期に遡り決算訂正
- 2014年5月に実施した「資本剰余金の利益剰余金への振替による繰越損失の解消」についても訂正

<各期ごとの連結損益計算書および損益計算書の各段階損益に与える影響額>

(百万円)

	平成24年 3月期	平成25年 3月期	平成26年 3月期	平成27年 3月期	平成28年 3月期	平成29年 3月期	累計金額
営業利益	+ 292	+ 157	+ 171	+ 187	+ 273	+ 237	+ 1,317
経常利益	+ 292	+ 157	+ 171	+ 187	+ 273	+ 237	+ 1,317
当期純利益または親会社株主に帰属する当期純利益	+ 181	+ 98	+ 121	+ 141	+ 207	+ 237	+ 985

※平成29年3月期は、第2四半期連結累計期間まで。

1. 2017年3月期 第3四半期決算概況
2. 2017年3月期 通期業績予想および  
配当予想の修正
3. 第4四半期以降の取り組み

# 2017年3月期 通期業績予想および配当予想の修正

- i-ADAS関連の営業損失を計上するも、AM、MSが好調に推移したことから、営業利益は据え置き
- 関係会社の為替差損の増加などにより、経常利益は下方修正
- 特別損失計上などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は下方修正
- 配当予想は「未定」から「年間5円」の予定に

(億円)

	'16/3期 実績 ①	'17/3期 期初予想 ②	'17/3期 修正予想 ③	'17/3期 期初予想差 (③-②)	'17/3期 前期差 (③-①)
売上高	2,922	2,950	2,975	25	53
営業利益	45	48	48	0	3
経常利益	13	33	25	△ 8	12
親会社株主に帰属する 当期純利益	34	3	△ 73	△ 76	△ 107

# 通期業績予想の修正要因 営業損失および特別損失の計上

## ■ 営業損失

### ➤ AM分野

特定顧客向けi-ADAS関連新製品の受注において開発コストの増大が見込まれ、約15億円を損失計上

## ■ 特別損失

### ➤ 米国無線子会社

株式取得時に発生したのれんおよび固定資産について、今後の事業計画および回収可能性を検討した結果、特別損失として約48億円を計上

### ➤ 米国CMOSイメージセンサー子会社

事業戦略の見直しを行うにあたり、固定資産の回収可能性を検討した結果、特別損失として約5億円を計上

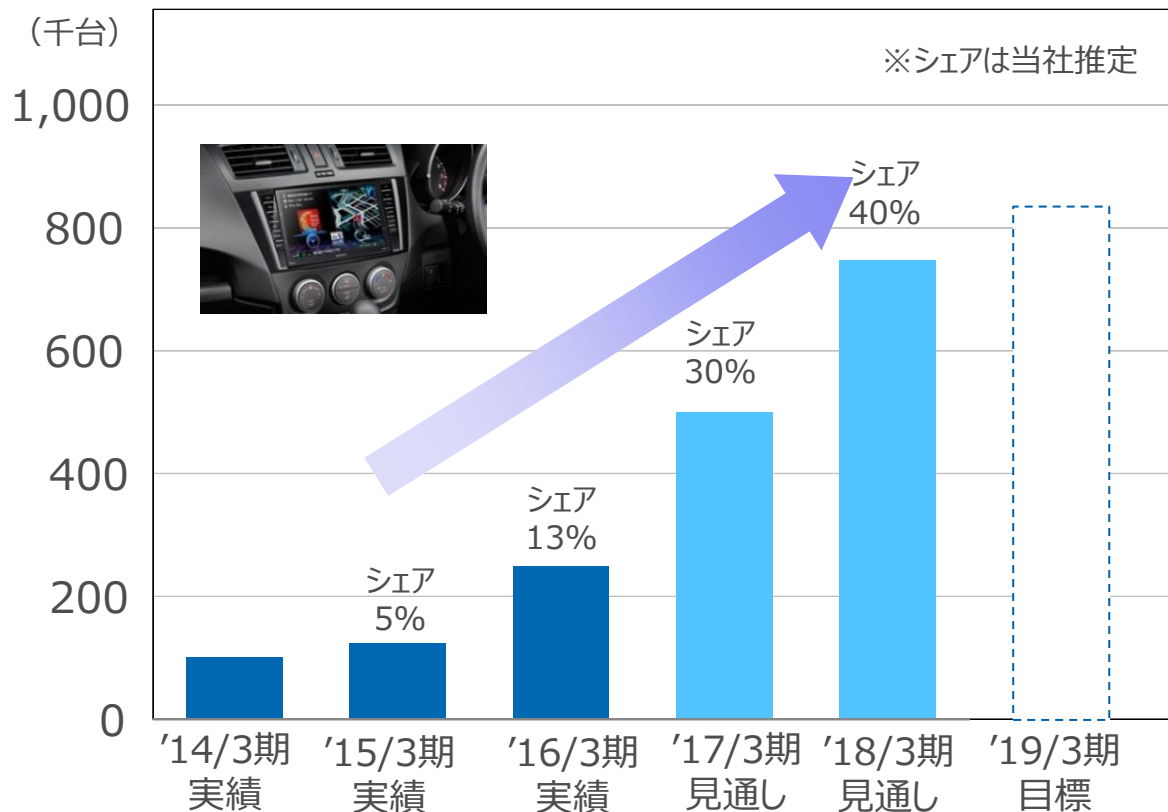
1. 2017年3月期 第3四半期決算概況
2. 2017年3月期 通期業績予想および  
配当予想の修正
- 3. 第4四半期以降の取り組み**



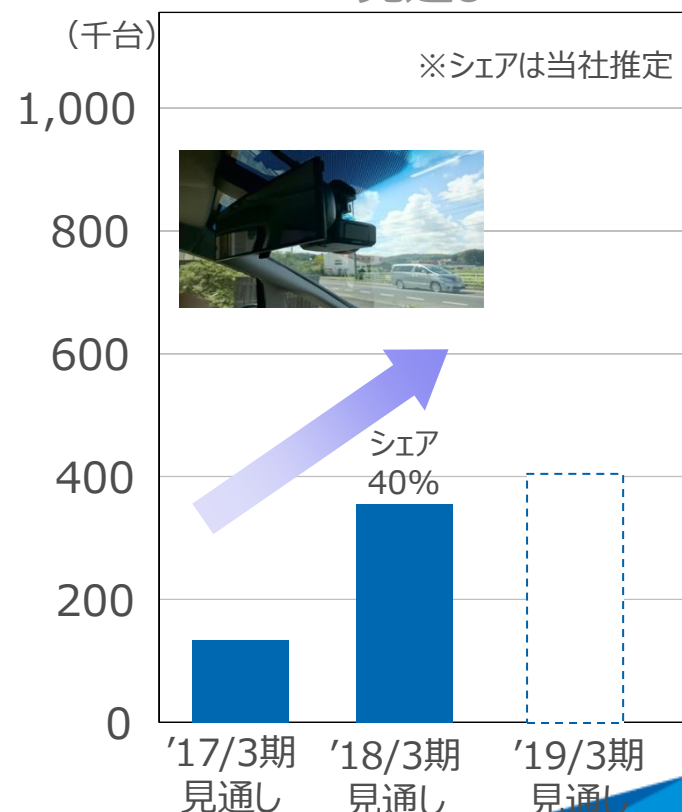
## 第4四半期以降の重点施策 オートモーティブ分野

- OEM用品での国内シェア維持・拡大とアジアを中心に海外展開でビジネス拡大
- ディスプレイオーディオを核としたOEM純正の受注拡大と、次世代ADASの開発導入および受注促進

国内用品ナビ  
実績・見通し

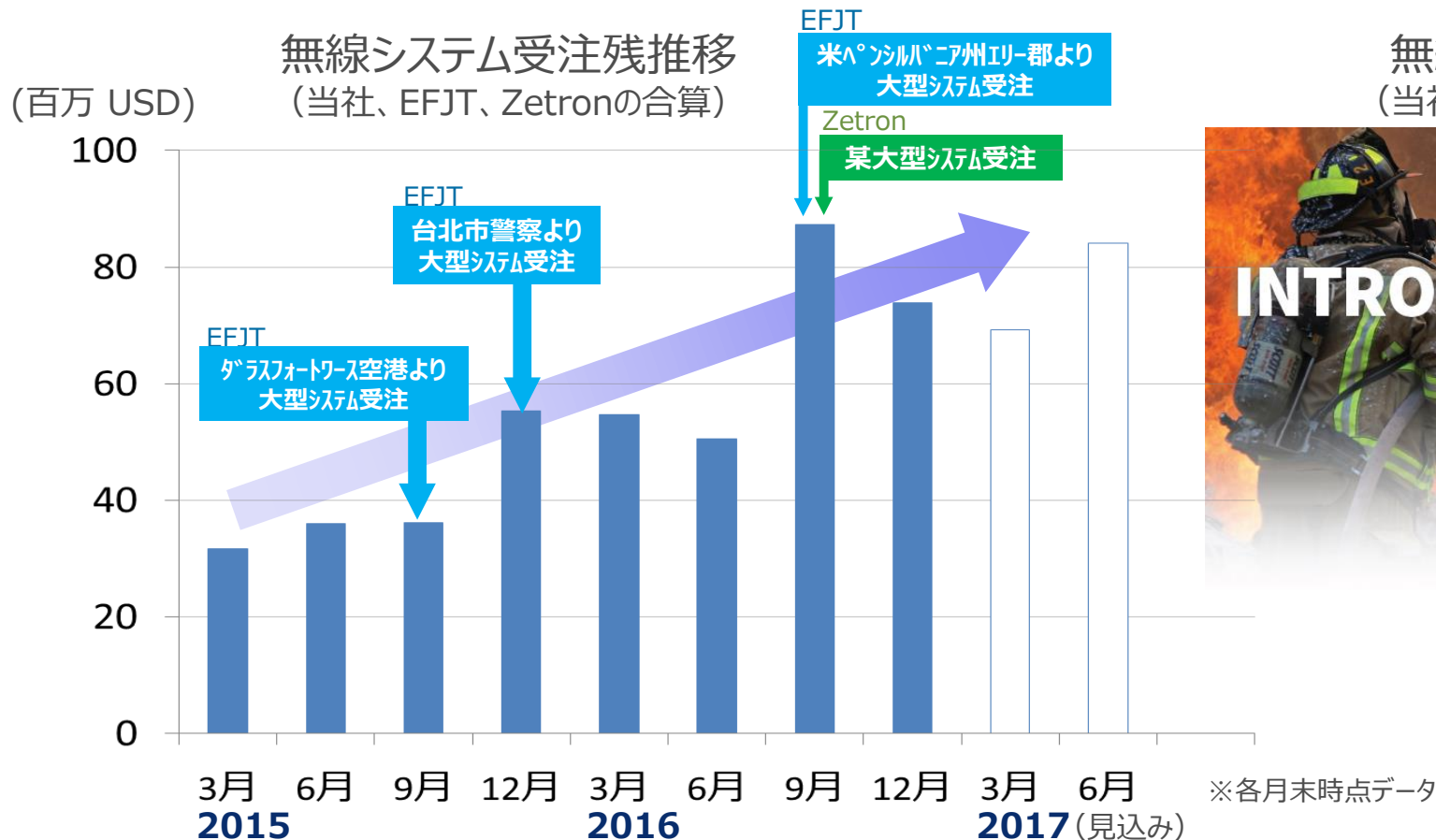


国内用品ドライブレコーダー  
見通し



# 第4四半期以降の重点施策 パブリックサービス分野

- 無線システムでのシステム受注拡大と、端末新商品導入・拡販
- 業務用システムでの営業・エンジニアリング一体組織化によるソリューション受注拡大



無線端末新商品  
(当社、EFJT共同開発)



## 第4四半期以降の重点施策 メディアサービス分野

- 堅調な民生分野の維持に加え、プロジェクターおよび業務用ビデオカメラへの新商材投入を梃子としたソリューション事業の競争力強化
- ビクター90周年およびケンウッド70周年と連動した「周年記念モデル」や新ソリューション投入など、当社保有のブランド資産を活用した事業展開

究極の4K高画質映像を実現する  
ホームシアター用プロジェクター



周年記念マーク

ビクター90周年



ケンウッド70周年



シルバー・アワード



総合金賞



プロジェクターⅡ  
(50万円以上)  
第1位



金賞

# JVCKENWOOD

このプレゼンテーション資料に記載されている記述のうち、将来を推定する表現については、将来見通しに関する記述に該当します。これら将来見通しに関する記述は、既知または未知のリスクおよび不確実性並びにその他の要因が内在しており、実際の業績とは大幅に異なる結果をもたらす恐れがあります。これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境によって当社の業績に影響がある場合、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、(1) 主要市場（日本、米州、欧州およびアジアなど）の経済状況および製品需給の急激な変動、(2) 国内外の主要市場における貿易規制等各種規制、(3) ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、(4) 資本市場における相場の大幅な変動、(5) 急激な技術変化等による社会インフラの変動、などがあります。ただし、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。